

第二総合運動場クライミングウォール利用責任者養成講習認定会

(認定会確認項目)

■ハーネス

自分のハーネスを持っている。

ハーネスを正確にフィッティング出来る。

体格によりシットハーネスでのクライミングが危険な場合、対策ができる。

■ロープと結び方

自分のロープを持っている。

スポーツクライミングに使用してよいロープを知っている。

ハーネスにエイトノットでロープを正確に結ぶことができる。

ほかの人のエイトノットを目視と触手で確認出来る。

ほかの人のハーネスにエイトノットでロープを結ぶことができる。

■クリップ

安全な動作でクリップを行える

逆クリップ、Zクリップの意味を理解し回避修正が出来る。

たぐり落ちの危険性を理解し回避できる。

ほかの人にクリップの指導をすることができる。

■登攀

5.10台を登り切ることができる。

完登できないグレードを人口登攀を併用し登りきることができる。

壁とロープの間に体が入る事への危険性を理解し、回避することができる。

ほかの人の登攀中、上記の不具合があった場合に指摘し修正を促すことができる。

■ビレイ・ビレイデバイス

自分のビレイデバイスを持っている。

ビレイのシステムを理解して実践できる。(デバイスセット向き、対応ロープ径、立ち位置、姿勢)

登攀者のミスでビレイ中も警告することができる。

クイックドロ回収時のビレイ動作が正確にできる。

スポットの必要性と方法を知っている。

ダイナミックビレイを理解し実践、説明できる。

ビレイヤーの立ち位置や動作について他の人に注意、指示することができる。

■クイックドロのセットと回収作業

自分用のクイックドロを必要本数持っている。

クイックドロセット時の、長さ、上下向き、左右の向きの使い分けができる。

回収作業の手順を理解し、ビレイヤーに的確に指示しながら作業できる。

ほかの人に回収作業のシステムを指示することができる。

■マナー・安全対策

トップロープでのロープ設置ができる。

終了点やハンガーに関する注意事項を知っている。

クライミングギアの点検方法や使用限界について知っている。

上記の項目について確認いたします。

受験者は内容について事前に練習を行い滞りなく行うことが出来る様にしてください。